

「新しい機能性モノマーの市場展望」 目次

第1章 新しい機能性モノマーの種類と種類

1. 機能性モノマーの種類

1.1 機能性モノマーの定義

1.1.1 リストアップ製品の測定における考え方

1.1.2 「新しい機能」の考え方

1.1.3 最近の特徴的潮流

(1) UV・EB硬化

(2) 脂環基の導入

(3) 反応性官能基の導入

1.1.4 機能性モノマー類の使用法

1.1.5 リストアップの対象から外したモノマー

1.2 機能性モノマーの分類

2. 機能性モノマーの特徴

2.1 ビニル系

2.1.1 (メタ)メタクリレート系

(1) (メタ)アクリル酸イソボニル

(2) (メタ)アクリル酸シクロヘキシル

(3) (メタ)アクリル酸 ϵ -ブチル

(4) ジシクロペンタニルメタクリレート

(5) ジシクロペンタニルオキシエチル(メタ)アクリレート

リレート

(6) ジペンタエリスリトール(ペンタ)ヘキサアクリレート

リレート

(7) トリプロピレングリコールジアクリレート

(8) トリメチロールプロパントリ(メタ)アクリレート

ート

(9) ポリエチレングリコールジアクリレート

(10) メタクリル酸グリシジル

2.1.2 アクリルアミド誘導体

(1) アクロイルモホリン

(2) N-イソプロピルアクリルアミド

(3) N, N-ジメチルアクリルアミド

(4) N, N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミド

2.1.3 その他の不飽和化合物

(1) イソプレンスルホン酸ソーダ

(2) N-ビニルアセトアミド

(3) N-ビニルホルムアミド

(4) (ポリ)アリアルミン

(5) (ポリ)p-ビニルフェノール

2.2 非ビニル系

2.2.1 多価カルボン酸

(1) 1,4-シクロヘキサカルボン酸

(2) CIC酸/Bis-CIC酸

(3) 2,6-ナフタレンジカルボン酸(ジメチル)

2.2.2 多価アルコール

(1) 1,4-シクロヘキサジメタノール

(2) 4,4'-ジホドロキシビフェニル

(3) ジメチロールブタン酸

(4) 水素化ビスフェノールA

(5) ネオペンチグリコール

(6) 1,3-プロパンジオール

2.2.3 多価アミン

(1) m-キシリレンジアミン

(2) 1,4-ジアミノブタン

(3) ノルボルナンジアミン

(4) 1,3-ビス(アミノメチル)シクロヘキサン

2.2.4 その他

(1) 2,2-ビス(p-シアナトフェニル)プロパン

3. 最近開発された機能性モノマー

3.1 ビニル系

3.1.1 (メタ)アクリル系

(1) フッ素系モノマー

(2) 脂環系モノマー

(3) 反応性官能基を有するモノマー

(4) 生体適合性モノマー

3.1.2 各種ビニル化合物

(1) p-クロロスチレン

(2) ビニルスルホン酸

(3) ビニルオキサゾリン

3.2 その他(非ビニル系)

3.2.1 ビスオキサジン

第2章 機能性モノマーの市場規模とメーカー

1. 機能性モノマーの分類と市場規模

2. 分類別参入メーカー

2.1 ビニル系

2.1.1 アクリル系,メタクリレート系

2.1.2 アクリルアミド系

2.1.3 カルボン酸ビニルエステル

2.2 非ビニル系

2.2.1 多価アルコール ビフェノール型

2.2.2 その他

3. 主要メーカーの動向

3.1 大阪有機化学

3.2 共栄社化学

3.3 東亜合成

3.4 日本化成

3.5 丸善石油化学

3.6 三菱レイヨン

3.7 三菱ガス化学

3.8 昭和電工

第3章 機能性モノマー各論

1. ビニル系

1.1 アクリル,メタクリル系

1.1.1 イソボニルAC,MA

(1) 生産動向

(2) 芳香環,脂環,複素環含有エステルの動向

1.1.2 シクロヘキシルAC,MA

(1) 生産動向

- (2) 業界動向
- 1.1.3 n-ブチル MA
- 1.1.4 ジシクロペンタニル MA
 - (1) 生産動向
 - (2) 用途
- 1.1.5 ジシクロペンテニルオキシエチル AC, MA
 - (1) 生産動向
 - (2) 用途
- 1.1.6 ジペンタエリスリトール (ペンタ) ヘキサ AC
- 1.1.7 トリメチロールプロパントリ MA
- 1.1.8 ビス A・エチレンオキサイド変性ジ AC
 - ／ビス A・プロピレンオキサイド変性ジ
- AC
 - (1) pBE、EBE の生産動向
 - (2) ビス A・エチレンオキサイド変性ジ AC
 - ／ビス A・プロピレンオキサイド変性ジ
- AC の生産動向
 - (3) ビス A・エチレンオキサイド変性ジ AC
 - ／ビス A・プロピレンオキサイド変性ジ
- AC の用途動向
 - 1.1.9 グリシジル MA (GMA)
 - (1) エポキシ基を有する(メタ)アクリレートの種類
 - (2) 生産動向
 - (3) 用途動向
 - 1.1.10 2-ヒドロキシエチル AC (2-HEMA)
 - (1) 生産動向
 - (2) 用途動向
 - (3) 水酸基を有するアクリレート, メタクリレートの動向
 - 1.1.11 2-ヒドロキシプロピルアクリレート AC, MA
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
- 1.2 アクリルアミド系
 - 1.2.1 N,N-ジメチルアクリルアミド (DMAA)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - 1.2.2 N,N-ジメチルアミノプロピルアクリルアミド (DMAPPA)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - 1.2.3 ダイアセトンアクリルアミド (DAAM)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - 1.2.4 ジメチルアミノプロピルメタアクリルアミド (DMAPMA)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
- 1.3 その他不飽和化合物
 - 1.3.1 N-ビニルアセトアミド (NVA)
 - (1) 生産動向
 - (2) 昭和電工の PNVA 事業戦略
 - 1.3.2 N-ビニルホルムアミド (NVF)
- 1.4 ビニルエーテル系
 - 1.4.1 4-ヒドロキシブチル VE (HBVE)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - 1.4.2 ジエチンエチレングリコールモノ VE (DEGV)
 - (1) 生産動向
- (2) 需要動向

- 1.4.2 N-ビニル-2-ピロリドン (NV2V)
 - (1) 生産動向
- (2) 需要動向
- (3) 業界動向
 - 1.4.3 N-メチルピロリドン (NMP)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
- 2. 非ビニル系
 - 2.1 多価カルボン酸系
 - 2.1.1 2,6-ナフタレンジカルボン酸ジメチル (NDC)
 - (1) NDC 開発の歴史
 - (2) メーカー別生産能力と供給推移
 - (3) 価格動向
 - 2.1.2 6-ヒドロキシ-2-ナフタレンカルボン酸 (BON6)
 - 2.2 多価アルコール系
 - 2.2.1 1,4-シクロヘキサンジメタノール (CHDM)
 - (1) 生産動向
 - (2) CHDM の用途
 - (3) 価格動向
 - 2.2.2 ジメチロールブタン酸 (DMBA)
 - 2.2.3 1,3-プロパンジオール (PDO)
 - (1) 1,3-プロパンジオール開発の歴史
 - (2) 1,3-プロパンジオールの企業化動向
 - (3) 1,3-プロパンジオールの製法とコスト
 - (4) 1,3-プロパンジオールの用途
 - 2.2.4 ポリカーボネートジオール (PCD)
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - 2.2.5 水素化ビスフェノール A
 - (1) 生産動向
 - (2) 需要動向
 - (3) 業界動向
 - 2.2.6 ビスフェノール S
 - 2.2.7 4,4'-ジヒドロキシジフェニル (ビフェノール)

第4章 反応性モノマーの市場

1. UV・EB 硬化樹脂

- 1.1 UV・EB 硬化型樹脂の種類
- 1.2 UV・EB 硬化樹脂の用途
- 1.3 UV・EB 硬化型樹脂用モノマー
- 1.4 応用製品市場
 - (1) UV・EB 硬化型印刷インキ
 - (2) UV 硬化型木工コーティング

2. エポキシ樹脂反応性希釈剤

- 2.1 生産動向
- 2.2 EBE, PBE 誘導体のグリシジルエーテルの市場

3. 高分子凝集剤

- 3.1 生産動向
- 3.2 業界動向

- 4. 眼鏡用レンズ
 - 4.1 眼鏡レンズのプラスチック化の歴史
 - 4.2 レンズ材料の要求性能
 - 4.3 市場動向と今後の展望
- 5. コンタクトレンズ
 - 5.1 コンタクトレンズの開発経緯
 - 5.2 市場動向
 - 5.3 製品動向
- 6. 液晶ポリマー
 - 6.1 液晶ポリマーの種類と使用されるモノマー
 - 6.2 メーカー別生産能力および新增設計画
 - 6.3 液晶ポリマーメーカーの生産状況
 - 6.4 需要動向
 - 6.5 価格動向
- 7. 新規飽和ポリエステル樹脂
 - 7.1 新規飽和ポリエステル樹脂の種類
 - 7.2 NDC系ポリエステル樹脂の特徴と用途
 - 7.2.1 ボトル
 - 7.2.2 フィルム
 - 7.3 CHDM系ポリエステル樹脂
 - 7.3.1 CHDM系ポリエステル樹脂の種類
 - 7.3.2 CHDM系ポリエステル樹脂の市場規模
 - 7.3.3 CHDM系共重合ポリエステル樹脂の需要動向
 - 7.4 PTT
 - 7.4.1 PTTの特徴
 - 7.4.2 PTTと競合樹脂との物性比較
 - 7.4.3 PTTの市場展望
 - (1) 繊維
 - (2) 成形材料
 - (3) フィルム, シート
 - (4) ボトル
 - 7.5 PTTの価格